

2019年6月3日

米沢精密株式会社への成長支援投資を実行

－ “事業承継問題の解決”と“成長戦略の支援”を実現 －

日本プライベートエクイティ株式会社
URL <https://www.private-equity.co.jp>

日本プライベートエクイティ株式会社(以下、「JPE」)は、今般、精密金型部品や精密ネジを製造する米沢精密株式会社(本社:山形県米沢市)が発行する全株式を創業オーナーから譲り受けました。

JPEは、中堅・中小企業のオーナー経営者が抱える“事業承継”と“成長戦略”という課題を解決するため、中小企業に特化した“事業承継ファンド”を運営しています。本件においても、成長可能性を秘めた地域の優良中小企業である米沢精密株式会社に対して、JPEがファンドを通じて株主となって資本面・経営面から支援し、社員の方々と共に事業基盤の強化と成長戦略の実現に取り組んでまいります。

1. 本件概要

今回、株式を譲り受けた米沢精密株式会社(以下、「同社」)は、精密金型部品の専門メーカーであり、特に、“丸物”(丸い形状の部品)に特化したカスタマイズメーカーです。

1977年の創業以来、永年にわたり蓄積された精密加工と生産管理の技術やノウハウをベースとして多種多様な精密部品を製造、全国の幅広い顧客ニーズに対応しています。

小規模ながらも、国内の優良な金型メーカー等と直取引し顧客志向を徹底、高い精度が求められる“丸物”に特化して精密技術を追求すると同時に、即納体制の構築など生産管理にも積極的に取り組んでいます。

40年以上にわたり、堅実な経営を実践してきた同社ですが、会社の将来を見据え、さらなる飛躍を目指すためには、“事業承継ファンド”を活用して資本と経営の継承を行うことが最善の選択と判断されました。JPEとしても、同社の経営理念や企業文化を尊重しながら、社員の方々と共にさらなる成長を目指します。

2. 本件 取り組みの背景

(1) “事業承継問題の解決”と“成長戦略の実現”

JPEは、2000年の会社設立以降、19年にわたり、“事業承継・事業再編ファンド”による投資を通じて、「中堅・中小企業の資本と経営の承継」を支援してきました。

成長可能性を秘めながらも、後継者不在といった“資本と経営の課題”を抱える、優良な中小企業は多く、JPEではこれまでに、運営ファンドを通じて、本件を含む30社の中堅・中小企業の課題解決と成長支援を実現してきました。

本件についても、同社が主要製品市場とする「金型」は、製造部品の軽量化やユニット化への対応で複雑化や高度化が進み、難易度の高い製品の製造や調達の国内回帰が進んでいることから、同社が活躍できる領域はまだ十分にあると考えています。

よって、事業承継問題の解決だけにとどまらず、将来を見据え、企業としての中長期的な成長戦略をいかに描き、実現していくかを“事業承継ファンド”として支援するものです。

JPEでは、経営人材の派遣をはじめ、ファンドならではの“中立性”“柔軟性”“ネットワーク”を活かしながら、同社の成長戦略の実現を目指します。

(2) 中立性を維持しながら事業基盤を強化・拡大

同社も、かつては、標準設計の金型部品を製造していましたが、時代の変化や好不況の波に柔軟に対応するため、下請け的なポジションから脱却、現在は、多品種少量のカスタムメイドに対応するメーカーに転換しています。その結果、自動車や半導体関連をはじめ、医療や電機、ロボット産業など幅広い用途への部品を提供する専門メーカーとなっています。

こうした幅広い顧客を抱えるなか、中立性や独立性を維持しながら事業承継を円滑に行い、さらなる成長と可能性を追求していくにあたり、会社に特定の企業の色がつくことは必ずしも好ましいことではありませんでした。

今回、同社が特定の事業会社の傘下や系列に属するのではなく、中立的な“ファンド”を株主として選んだことで、これまで培われてきた企業文化やものづくり企業としての“品質こそ信頼”といったこだわりを堅持しながら、さらなる成長を遂げることが可能となります。

JPEでは、今後も、現場重視の運営体制を維持しながら、外部の人材や経営ノウハウも積極的に取り入れ、事業基盤の強化に努めていきます。

また、今回の事業承継スキームを成立させるにあたり、JPEの株主である日本政策投資銀行をはじめ、地元の金融機関である荘内銀行、きらやか銀行にもサポートいただくことで、地域の優良中小企業の成長を支援しようという応援団の輪が広がりました。

今後も、中立的でオンリーワンを目指す専門技術者集団という、同社の立ち位置を活かし、同業、異業種、他分野との企業等とも連携、より“開かれた会社”となって、業界や地域、社会に貢献していきます。

(3) “オーナー経営”から“組織経営”への移行を実現

地方の中小企業、特に、製造業において、人材不足や技術継承、高齢化といった課題は深刻です。そうしたなか、中小オーナー企業が事業の存続と成長を遂げていくためには、オーナー経営者個人の力では限界があることは否めず、外部の力も活用して“組織経営”に移行、新しい経営基盤を構築することが不可欠です。

同社では、“次世代自立型組織”を志向して、早くから現場への権限移譲等を進めてきましたが、経営の最終的な承継は未完でした。よって、今回、資本と経営の承継を完遂するため、ファンドに株式を継承し、ファンドを通じて経営者人材も招聘しました。

JPEでは、今後も、現場における“人材投資”と“設備投資”を継続していくことで、同社が蓄積してきた技術力や現場力を将来へと継承し、これからの日本における“ものづくり企業のあり方”を同社を通じて具現化していきたいと考えます。

3. 各社概要 (*2019年6月3日現在)

□ 米沢精密株式会社 <http://www.ysk2000.co.jp/>

本社所在地	山形県米沢市窪田町小瀬 331 番地
設立	1979年7月
資本金	3,000万円
代表者	代表取締役社長 武田 淳
従業員数	40名
事業内容	精密金型部品・精密機構部品等の製作、精密ネジ研削、熱処理焼入研削丸物加工

□ 日本プライベートエクイティ株式会社 <https://www.private-equity.co.jp/>

本社所在地	東京都千代田区神田三崎町二丁目 15 番 6 号 K-STAGE 5F
代表者	代表取締役社長 法田 真一
事業内容	中小企業の事業承継や事業再編を対象としたファンドの運営、コンサルティング

4. 本件に関するお問い合わせ先

日本プライベートエクイティ株式会社

東京都千代田区神田三崎町二丁目 15 番 6 号 K-STAGE 5F

Tel:03-3238-1726 Fax:03-3238-1639 / 担当: 企画部 (info@private-equity.co.jp)

以上